

## 強力脱脂洗浄剤

# ポリールM2



- 【外 観】微黄色液体
- 【液 性】中性 (pH8)
- 【主成分】界面活性剤、グリコール系溶剤、テルペン類、防錆剤
- 【入目・荷姿】18 金属缶

### 【用 途】

- ・ フロン類、塩化メチレン等の溶剤の代替洗浄剤
- ・ 塗装、メッキ処理前、製造工程の脱脂洗浄
- ・ 各種金属、プラスチック、セラミック、ゴム、ガラス等の洗浄
- ・ 機械、部品のメンテナンス洗浄
- ・ 空調のフィン、フィルターの洗浄
- ・ 工場内施設、機械器具類の油脂、グリース等の洗浄
- ・ 一般タイル (塩ビ系、ゴム系等) の洗浄
- ・ 皮脂汚れ、タール、グリース、インキ、タバコのヤニ等の洗浄

### 【特 長】

- ・ 強力な洗浄力を持っていますので、各種汚れの除去に有効です。
- ・ 危険性の高い苛性アルカリやハロゲン化物を含有していません。
- ・ 金属に対する腐食性が少なく、ほとんどの金属に使用できます。
- ・ 油に対する溶解性が強く、樹脂汚れも洗浄除去できます。
- ・ すすぎ性が良く、汚れの再付着もありません。
- ・ 一時防錆効果があります。

### 【使用方法】

汚れの度合いに応じて、原液もしくは水・温水で希釈してご使用ください。  
超音波洗浄、揺動洗浄、浸漬洗浄、ブラシ洗浄、スプレー洗浄等を行ってください。

汚れに対する洗浄剤濃度の目安		
ひどい汚れの場合	10 倍 ~ 20 倍	本液 1 に対して、水 9 ~ 19
一般的な汚れの場合	20 倍 ~ 50 倍	本液 1 に対して、水 19 ~ 49
軽い汚れの場合	50 倍 ~ 100 倍	本液 1 に対して、水 49 ~ 99

### 【取扱上の注意】

- ・ 危険物 (消防法第 4 類第 2 石油類) に該当しますので、火気には充分にご注意の上取り扱ってください。
- ・ 皮膚に触れたり眼に入らないよう注意してください。飲み込むと危険です。
- ・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用してください。
- ・ 換気をよくして使用してください。
- ・ 用途以外には使用しないでください。

FN 220331 1/3

〔製造元〕  **クソナキ化学株式会社**

本 社 大阪府富田林市若松町東 1-205  
TEL 0721-26-2271 (代表)  
FAX 0721-26-2273

〔販 売〕  **菱江化学株式会社**

本 社 東京都中央区日本橋本町 4-12-20 PMO 日本橋本町ビル  
TEL 03-6861-0054  
FAX 03-6861-0034

【金属に対する影響】

〔試験条件〕( J I S ・ K K 2 2 3 4 7.8 準拠 )

洗浄剤濃度 ..... 「ポリールM2」原液の5倍稀釈液

洗浄剤温度 ..... 60

浸漬時間 ..... 1時間

金属板の外観変化状況

品 種	判 定
鉄	
銅	
アルミニウム	
黄銅	

判定基準：目視による外観の変化を調べる。  
 変化なし      部分変化      × 腐食

【樹脂・ゴムに対する影響】

洗浄剤濃度 ..... 「ポリールM2」原液の5倍稀釈液

洗浄剤温度 ..... 60

浸漬時間 ..... 1時間

	重量変化	体積変化
A B S		
ポリカーボネート		
塩化ビニル(軟)		
塩化ビニル(硬)		
C R		
ウレタンゴム	×	×
シリコンゴム		
ポリプロピレン		
フッ素ゴム		

判定基準：浸漬後、測定し変化率を調べる。  
 1%未満      1~2%      2~3%      × 3%以上

## 取扱説明書

製 品 名

ポリールM 2

危 険 性

- ・原液は引火点があるが、5倍希釈以上だと引火性はない。
- ・通常の条件では熱、光、衝撃に対し化学的に安定である。

有 害 性

- ・眼に対して刺激性がある。皮膚に繰り返し接触すると、脱脂作用により皮膚荒れを起こす事がある。

取扱上の注意

- ・換気の良い場所で取扱う。蒸気又はヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・取扱い中はゴム手袋、ゴム前掛け、眼鏡、長靴等の保護具を着用し、直接身体又は着衣に付着しないようにする。
- ・飛散させたり、こぼれないようにする。万一飛散したり、こぼれた場合には、水で洗い流す。
- ・取扱い後に手、顔等をよく洗い、うがいをする。

火災時の処置

- ・可能な限り風上から消火活動を行う。
- 呼吸保護具等適切な保護具を状況に応じ着用する。
- 消火剤：炭酸ガス、粉末、泡、水噴霧

漏出時の処置

- ・大量の場合、おが屑、土砂等を混ぜ、スコップ等で空容器に回収する。
- ・少量の場合は、ウエス等で拭き取る。
- ・河川等に排出されないように注意する。

保管上の注意

- ・ゴミ、水分等の混入防止のため、使用後は密栓して下さい。
- ・直射日光が当たらない冷暗所に保管する。
- ・盗難又は紛失することのないよう施錠場所に保管する。

応急処置

### < 眼に入った場合 >

直ちに多量の水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々までよく行きわたるように洗浄する。

### < 皮膚に付着した場合 >

汚染した衣服、靴等を速やかに脱ぐ。外観に変化があるか、痛みが続く場合は、医師の手当を受ける。

### < 吸入した場合 >

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温して安静に保ち、医師の手当を受ける。

### < 飲み込んだ場合 >

水でよく口の中を洗浄する。可能であれば吐き出させ、直ちに医師の手当を受ける。

廃棄上の注意

- ・使用液、水洗水の廃棄の際は、廃棄物処理業者に依頼し、法令に従って処理して下さい。また、使用後、水洗水の自社内処理を行う場合には、pH調整、凝集沈殿処理、活性汚泥処理、活性炭吸着等の処理を行い、市町村の条例に定める基準に従って放流して下さい。

記載内容の取扱い

- ・記載内容は現時点で入手できた資料、情報等に基づいて作成しておりますが、試験のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途に適した安全対策を実施の上、ご使用下さい。